

（令和5年10月13日（金）  
にぎたつ会館）

本日は、大変御多用の中を、県立学校はもとより、国立・私立学校からも、学校長の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から、愛媛の未来を担う人材の育成に御尽力いただいておりますことに対して、深く敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

さて、県では本年3月に、今後4年間、本県の教育を推進するうえで根幹となる「第3期愛媛県教育振興に関する大綱」を策定し、教育の振興を通じて、優れた人格と能力を兼ね備えた有為な人材を輩出することはもとより、その教育力の高さをもって、若者が住み続けたいと思う愛媛づくりや、全国から評価され選ばれる「教育立県えひめ」の実現を目指すこととしました。

そして、この目標を実現するためには、今のような変化が激しく予測が難しい時代にあっても、不測の事態に動じることなく、自分の発想と力で困難を乗り越えていく「たくましい子どもたち」を育成することが、重要であると考え、大綱に掲げる振興方針の第一に「未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成」を掲げ、各種の取組みを展開することとしています。

具体的には、早い段階から地域産業や企業の活動を知り、地域で働き、地域で生活することの魅力を実感できるよう、これまで中学生を対象に実施してきた「えひめジョブチャレンジU-15事業」に、今年度から新たに小学6年生を対象とした取組みを加え、義務教育段階における望ましい勤労観や職業観の形成を目指すとともに、高校生段階においても、今年度新たに、全ての県立高校と中等教育学校において、地元企業や地域社会と連携しながら、地域課題の解決や地域の魅力発信などに取り組む「ソーシャルチャレンジfor High School事業」を創設し、小学校から高校までの12年間を通じたキャリア教育を推進しています。

さらに、今年3月に策定した「県立学校振興計画」に基づき、新学科・コースの開設による「多彩で魅力的な選択肢の提供」や、より広い視野と知識を備えた人材を育てる「職業・学科横断的学習の展開」、地元の学校から第一志望合格を目指す「進学指導の充実」に力点を置いて、県立学校の魅力化に取り組んでいるところです。

また、職務の多忙化や学校を取り巻く環境の変化の中で、教職員の長時間労働が問題視され、時間外勤務の縮減やメンタルヘルス不調への対応が課題となっております。県教育委員会では、大綱に「教職員の働きがいのある魅力的な職場づくり」を振興方針の一つに掲げ、教職員が誇りややりがいを持って、安心して働くことができるよう、働き方改革にも力を入れて取り組んでいます。

これらの取組みを円滑に進め、狙い通りに目的を達成していくためには、学校運営の最高責任者である皆様方の理解と協力が欠かせません。

どうか皆様方には、こうした動きを踏まえながら、強力なリーダーシップを発揮し、校務のデジタル化や会議の簡素化といった業務改善に努めていただくなど、教職員一人一人の働き方に配慮した、働きやすい職場づくりに取り組んでいただくとともに、生徒が多くの仲間と交流し、多様な価値観に触れ合うことができる環境をつくり、全ての生徒が夢を実現できる魅力的な教育が提供できるよう御協力をお願いいたします。

本日は、この後、元成城中学校・高等学校長 栗原 卯田子 先生に、魅力ある学校づくりについて御講演いただくと伺っており、各校における学校の魅力発信の一助としていただきたいと期待しております。

終わりになりますが、皆様方には、引き続き、地域に愛され、信頼される学校づくりに加えて、教職員の働きやすい職場づくりにも取り組んでいただきますようお願いいたします。

本日の研究協議会が実り多いものとなりますことを祈念いたしまして、開会の挨拶といたします。